



ニヌファブシ

vol. **13**
2009.8

首里城下町クリニック ・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび
共同発行情報誌

はじめに

皆さん、こんにちは!暦の上では立秋ですが、暑さは少しも衰えずエアコンのきいた室内に逃げ込む。という日々が続いてる人も多いのではないのでしょうか?私は最近、エコのために冷凍庫で冷やして使うアイスノンを使っていますがこれが結構イケてます!

本誌は、首里城下町クリニック(旧 田名内科クリニック)・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかびが共同で作成している広報誌「ニヌファブシ」の第13号です。「ニヌファブシ」とは沖縄の方言で北極星の意味です。

ちなみに余談ですが、かの有名な冬のソナタでは北極星のことを「ポラリス」といいます。灯りもない昔、漁に出る人たちは1年を通して消える事のない北極星を道しるべとしていました。そんな北極星のように、地域に根ざし、皆様から慕われるような病院でありたいという思いを込めて名づけました。

沖縄の暑さはまだまだ続きますが、暑さに負けず体調を崩さないように気をつけてお過ごしくださいね。

那覇西クリニックトピックス



「開院13周年パーティー」

おかげさまで那覇西クリニックは、今年13周年を迎えることが出来ました。去る5月16日にハーバービューホテルにて記念パーティーが開かれ、今年勤続10年を迎える勤労功労者の表彰式など、職員同士や日頃お世話になっている方々とビールやおいしい食事を前に話も弾み、皆の笑顔あふれるパーティーとなりました。



おいしい料理を前に♪



10年勤続表彰 上原さん



新崎さん

病院レク「春のボーリング大会」

今年もボーリング大会が4月18日に行われました。豪華景品を賭けて各チーム一致団結しゲームが始まるとあちらこちらから拍手や歓声、笑い声が飛びあいととも盛り上がりました。

その後は日頃のお疲れ様会を兼ねた食事会もあり、職員同士の交流が更に深まり楽しい時間を過ごす事が出来ました。



優勝目指してがんばるぞ!



ゲームの後はお待ちかねのお食事

「講演懇親会」

2月1日沖縄県医師会会館にて講演懇親会が行われました。
講演会では長嶺医師による乳がんにつわるQ & A、鎌田医師による最新の乳がん薬物治療についてそれぞれ話がありました。会場のみなさんから色々な質問がありとても充実した講演会でした。その後軽食とともに、患者さんを中心とした懇親会が行われ盛況のうちに終了することができました。
今度は10月に患者会を開く予定です。



長嶺医師による乳がんにつわるQ & A



鎌田医師による最新の乳がん薬物治療について

「乳癌県民公開講座」開催のお知らせ

今年の10月に沖縄コンベンションセンターにて『乳がんについて』の講演会を予定しています。
日頃不安や疑問に思う事がありましたら、ぜひ足をお運び下さい。詳細は当院で案内させていただきます。

会場：コンベンションセンター 日時：10月4日(日)



「ピンクリボン沖縄 2009 のお知らせ」

10月はピンクリボン運動月間です。
今年も乳癌撲滅を目標にイベントを開催する予定です。詳細が決まりましたら院内で案内させていただきます。合せてピンクリボンホームページを御覧下さい。
【ピンクリボン】は乳癌の早期発見、早期治療の大切さを伝えるシンボルマークです。

とろもよるしく♪
新しいメンバーが
仲間入りしました♥



検査技師 比嘉 諭子

4月から那覇西クリニックで働かせていただいています。今までエコー検査をやったことがなく、覚えることがたくさんありますが、頑張りますのでよろしくお祈りします。



まかび看護師 宮里 ふみえ

初めての外来、乳腺という分野にとまどいつつ、心にゆとりをもって、患者さんの立場に立って考えられる看護を目指し、がんばりたいと思います。よろしくお祈りします。



外来看護師 鎮西 敏子

今年3月に看護専門学校を卒業し、3月下旬から外来に勤務しています。分からない事ばかりで勉強中ですが、早く一人前になれるようがんばりますので、よろしくお祈りします。

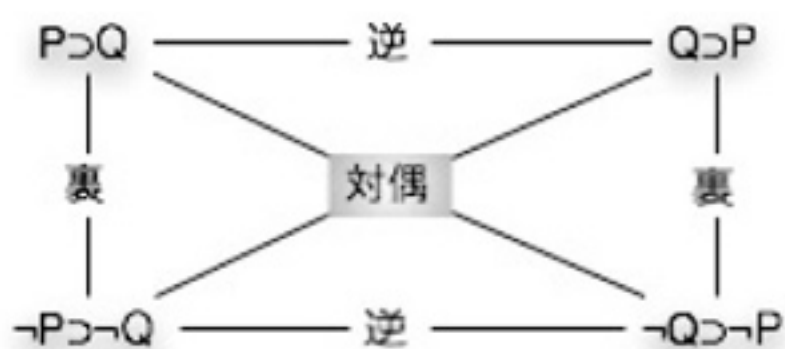
「カンゲーバツペー」

7月22日の日食は予想通りの時刻に起こりましたが、この科学の時代にも不可解な事があります。僕らのムヌカンゲーには致命的な弱点があるのではないかなと不安になりましたので、最近気になった事を検討してみました。

●メナミンは蛋白質ではない!

メナミン入りミルクの事件がありました。「蛋白質が多い」(この文をPとします)ならば、「窒素濃度は高くなる」(Q)というのは妥当です。この2つの文の関係「PならばQ」を $P \supset Q$ と書く事にします。逆の $Q \supset P$ は正しいとは言えないのに、窒素が多いメナミンを牛乳に混ぜて高蛋白であるとする偽装を許してしまったのでした。

遺伝子鑑定も話題になっています。容疑者が犯人である(P)ならば、現場に残されていた体液の遺伝子型と容疑者の型は一致します(Q)が、型が一致したのを根拠にしてSさんは犯人にされたのでした。Pの否定を $\neg P$ で表すと、 $P \supset Q$ は $\neg Q \supset \neg P$ に言い換えができます。すなわち型が一致しないならば、犯人ではありません。再鑑定で型の不一致が証明されて、最近釈放されたのでした。ならばの関係を下の図に示します。対角線のある文(対偶の関係)は互いに同じ事を言っているので言い換えが可能です。



●「かつ/または」ってなんだ?

メタボの診断基準に収縮期血圧130以上、かつ/または、拡張期血圧85以上との表現がありました。両方高い場合も片方だけ高い場合も該当するという意味です。そういう場合は両方満たすのも有りとする「または」の一言で事足ります(両立的または)。診断基準にある「または」は2つとも満たす場合は偽とする使い方(排他的または)なので「かつ」と「または」を「/」でつなぐという小難しい表現になっています。

P	Q	∧	∗	∗	∗	∗	∗	≡	∗	∗	∗	∨	∗	⊃	∗	∗	∗
T	T	T	F	F	F	T	T	T	F	F	F	T	T	T	F	T	F
T	F	F	T	F	F	T	F	F	T	T	F	T	T	F	T	T	F
F	T	F	F	T	F	F	T	F	T	F	T	T	F	T	T	T	F
F	F	F	F	F	T	F	F	T	F	T	T	F	T	T	T	T	F

那覇西クリニック
院長 照喜名 重治



●「良性、しかし悪性を否定できず」だって?

報告書でこんな記載を見たらどう思いますか? 良性と断定しておきながら、すぐ後で悪性もあり得ると言われたら不安を感じるのではないのでしょうか。一般的には「良性でなければ悪性、悪性でなければ良性、しかもどちらかである」と考えます。「良性かつ悪性」というのは矛盾した表現です。「Pまたは $\neg P$ 」は何の情報も与えてくれない文になり、「Pかつ $\neg P$ 」は矛盾した文になります。

P	$\neg P$
T	F
F	T

正確に「良性の可能性が非常に高いが、悪性も否定できない」と書くべきでしょう。

●ムヌカンゲーの弱点はこれか!

僕らは文を接続詞でつないで新たな文を作り、その文を評価しながら考えを進めていきます。2つの文(P, Q)の真(T)偽(F)の組み合わせは4通りあります。接続詞はPとQの真偽に応じて、接続詞でつないだ文全体の真偽を決める約束事です。

PまたはQ($P \vee Q$)が偽になるのはPもQも偽の場合だけです。しかし、普段の会話での「または」は下の表8番目の「排他的または」を意味する場合も多いかもしれません。

PならばQ($P \supset Q$)はPが真でQが偽の場合のみ偽で、それ以外は全て真である事を意味します。しかし、普段の会話では「PならばQ」はPが偽の場合はQも偽であるとする表7番目の関係と考えがちです。この関係はPとQの真偽が一致する同値(\equiv)の関係です。同値は、「PならばQ」で、かつ、「QならばP」である関係です。僕らはい「逆は真である」と考えちゃうのでしょうか。そして、「同値」は「排他的または」の否定にあたります。

「ならば」と「または」のあいまいな使い方が、カンゲーバツペーしやすい理由の一つであると思われます。

●最後にわたくしごとを

僕は小さい頃はおばーちゃん子でした。当時は沖縄でも冬の夜は寒く感じました。おばーは僕とよく添い寝してくれましたが、「夜は寒いから、おばーが足を温めてあげようね!」と言って、僕の足を湯たんぽ代わりに使っていたのでした。「ムヌカンゲーヤ、チャントシーヨーヤー」と寝物語で話していましたが、心優しい孫は足が冷えていくのに文句も言わず、いつのまにか眠っていたのでした。